



www.rotary.org

# ロータリーの 基本知識

国際ロータリーは世界初の奉仕クラブ団体であり、200以上の国と地域に33,000のクラブを擁しています。事業と専門職務および地域社会のリーダーである会員が、世界的なネットワークを形成し、地域社会のために、また世界のために、時間と能力を傾けて奉仕しています。

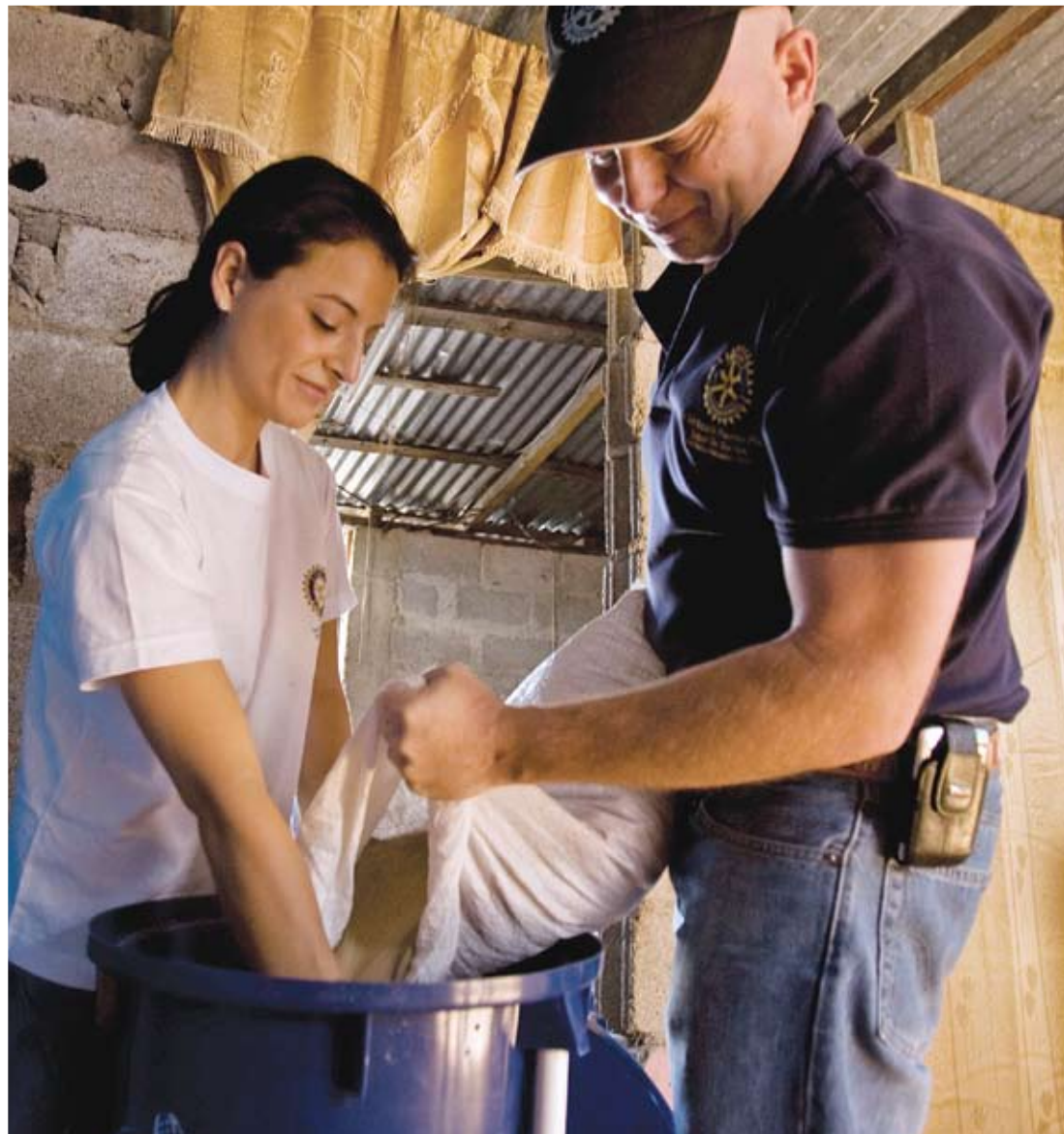
ロータリーの標語である「超我の奉仕」は、120万人以上の会員を誇る組織の人的精神をよく言い表しています。

またロータリアン同士の親睦と、有意義な社会奉仕や国際奉仕プロジェクトは、世界中でロータリーの特徴となっています。

「ロータリーは『与える者』が集まる大家族のようなものだと感じているからこそ、私たちはその一員として何かお返しをすることができるのです」

**デナ・アン・デュギルド  
(インドネシア)**

多岐にわたる豊かな伝統と組織機構の下、ロータリーには、新会員はもとより年数を重ねた会員でさえ戸惑うことがあるほど多くのプログラムがあります。以下のページには、基本的なロータリー教育、すなわち、すべての会員にロータリーについて理解してもらい、ロータリアンであることを誇りに感じてもらうための基本的な知識が説明されています。



ウェブサイト ([www.rotary.org/ja/rotarybasics](http://www.rotary.org/ja/rotarybasics)) も併せてご参照ください。

## 1905

2月23日にシカゴの弁護士、ポール・ハリスが最初のロータリー会合を行い、これが後にシカゴ・ロータリー・クラブの結成へ結びつく。

## 1907

シカゴ・ロータリー・クラブが、市内に公衆トイレを設置する。これが同クラブ初の社会奉仕プロジェクトとなる。

## 1910-11

ポール・ハリスが、最初の年次大会において、全米ロータリー・クラブ連合会の初代会長として選ばれる。

## 1911-13

カナダ、英国、およびアイルランドにクラブが結成され、組織の名称が国際ロータリー・クラブ連合会と改称される。

## 1915-16

キューバにクラブが創立され、英語圏外で初めてロータリー・クラブが結成される。

## 1916-17

アーチ・クランプ会長が、ロータリー財団の前身である基金の設立を提案する。



## 1942-43

ロンドンにおける教育および文化交流に関するロータリー大会が、ユネスコ創設のもととなる。

## 1945-46

49名のロータリアンが国連憲章の起草に貢献する。

## 1946-47

ロータリーの創始者、ポール・ハリスが逝去し、大学院奨学金（フェロー）プログラムの設置のためにロータリアンから多くの資金が寄せられる。

## 1948-49

18名のロータリー・フェローが初めて海外留学を果たし、これが後に国際親善奨学金となる。

## 1962-63

初のインターアクト・クラブが、米国フロリダ州メルボルンに結成される。世界社会奉仕プログラムが発足する。

## ロータリーの組織構成

ロータリーは本来、草の根的な組織であり、その奉仕活動のほとんどがクラブレベルにおいて実施されています。地区および国際的な組織機構は、クラブがそれぞれの地元地域社会をはじめ海外において多くの奉仕を提供できるよう支援するものです。

**クラブ:**ロータリアンは、ロータリー・クラブの会員であり、クラブは国際ロータリー（RI）の世界的連合体に加盟しています。各クラブは、それぞれ独自に役員を選び、ロータリーの定款・細則の枠内で広範囲にわたり自治権を行使することができます。

**地区:**クラブは、531のRI地区に分けられ、RI役員である地区ガバナーが各地区を統轄します。そして、ガバナー補佐や各種委員会を含む地区管理機構がクラブを指導、支援します。

**RI理事会:**19名のメンバーからなるRI理事会は、RI会長と会長エレクトを含み、方針を設定するために四半期ごとに会合を開きます。毎年選ばれる国際ロータリー会長は、その年度のテーマおよび奉仕の強調事項を提示するのが伝統となっています。

**事務局:**国際ロータリーは、米国イリノイ州シカゴの郊外にあるエバンストンに

本部を置き、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、インド、日本、韓国、スイスの7カ国に国際事務局があります。イギリスのグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー（RIBI）は、同地域のクラブおよび地区に奉仕業務を提供しています。事務局の最高執行責任者はRI事務総長で、世界中のロータリアンに支援業務を提供している740人の職員を率いています。

## クラブ会員の恩典と責務

クラブは、ロータリーの礎であり、多くの有意義な活動が実施される場でもあります。すべての効果的なロータリー・クラブは、4つの重要な要素、すなわち「会員基盤の維持と拡大」「地元社会や海外の地域社会に恩恵を与えるプロジェクトへの参加」「財政的な貢献およびプログラムへの参加によるロータリー財団への支援」「クラブの枠を超えてロータリーにおいて奉仕できる指導者の育成」を果たす責任があります。

ロータリアンがロータリーから何をもらえるかは、そのロータリアンがロータリーのために何をしたかによるところが大きいと言えます。会員としての義務規定の多くは、ロータリー活動に全面的に参加し、その体験を楽しむことを目的に定められています。

**奉仕:**すべてのクラブは、地域の地域社会と世界中のニーズを抱えた人々のた

「ロータリーについて知れば知るほど、私はロータリーが好きになります」

マイケル P. スレビニック  
(米国)



「『 Thank you, but no (ありがとう。でも、結構です) 』と何度断っても通じなかった一人の根気強いロータリアンのおかげで、私は今、ロータリー家族の一員となることができました」

**シルビア・バイヤース  
(オーストラリア)**

めに奉仕を行うという重要な使命を共有しています。クラブの奉仕プロジェクトに参加することで、会員は、地元や国際的なプロジェクトに対するクラブのかかわりについて知り、自分の時間と能力が最も必要とされているところでボランティア奉仕活動にあたることができます。

**会員の勧誘と維持:** 充実したクラブを維持するために、すべてのロータリアンは、新会員をロータリーに入会させるという責任を共有しなければなりません。新会員でも、例会にゲストを招いたり、奉仕プロジェクトに参加してもらうことができます。ロータリーの価値とは説明するまでもなく、会員候補者の関心と熱意を呼び起こす最善の方法は、実際に親睦と奉仕活動を体験してもらうことです。

もう一つの責務は、会員にロータリーへの関心を持ち続けてもらうことです。クラブの会員基盤を維持するための最善策は、クラブ活動を充実させ、入会後まもなく奉仕プロジェクトに参加してもらうことです。

理想的なクラブの構成は、地域社会の多様性(職業、性別、年齢など)を反映させたものです。このような多様性によって、クラブの親睦や奉仕のあらゆる面が豊かになります。

**出席:** 例会に出席することで、クラブでの親睦を深め、専門分野や個人的な知識を豊かにすることができます。クラブ例会の時間帯は、会員の家族や仕事の状況に応



じてさまざまです。昼食時に集まるのが伝統的ですが、早朝、仕事後、夜間に集まるクラブもあります。

ロータリーの方針では、ロータリー年度の各半期間において、例会に少なくとも50パーセント出席することが会員に義務付けられています。会員が例会に出席できない場合は、世界中のいずれかの例会に出席してメイクアップすることによってロータリーの視野を広げるよう奨励されています。この慣行では、世界中どこでも温かく歓迎されることが保証されています。例会の場所と時間については、「Official Directory」(公式名簿)あるいはRIウェブサイト([www.rotary.org](http://www.rotary.org))の「クラブ所在地検索」で調べることができます。

ロータリアンはまた、クラブの奉仕プロジェクトに参加したり、クラブ理事会、あるいはローターアクト・クラブまたはインターアクト・クラブの会合へ出席することで、欠席したクラブ例会をメイクアップすることができます。このほか会員は、オンラインによるロータリーEクラブでメイクアップすることが可能です。

## ロータリーの基本理念

ロータリーの歴史の中で、奉仕の理想と高い道徳的水準を達成するために、ロー

タリアンを導くいくつかの基本原則が導かれてきました。

**ロータリーの綱領:** 1910年に作成され、その後ロータリーの使命が拡大するにつれ修正されたロータリーの綱領は、組織の目的とクラブ会員の責務に関する明確な定義を提供するものです。

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

**第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。**

**第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。**

**第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。**

**第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。**

### 1965-66

特別補助金（後に同額補助金となり現在マッチング・グラントと呼ばれる）および研究グループ交換プログラムが開始される。

### 1967-68

初のローターアクト・クラブが米国ノースカロライナ州シャーロットで結成される。

### 1978-79

保健、飢餓追放および人間性尊重（3-H）補助金が開始される。

### 1979-80

600万のフィリピンの児童にポリオの予防接種を施すための財団補助金がポリオ・ブラスの創設のもととなる。

### 1984-85

ローターアクト・プラス・プログラムを発足し、世界のすべての児童に予防接種を行うために米貨1億2,000万ドルの募金キャンペーンを開始する。



### 1987-88

ポリオ・プラス・キャンペーンにより、ロータリアンが米貨2億4,700万ドルを募金する。初めて女性がロータリーに入会する。

### 1988-89

ロータリーがハンガリーとポーランドに復帰する。

### 1994-95

西半球がポリオ無発生地域と宣言される。

### 1998-99

平和および紛争解決の分野における国際研究のためのロータリー・センターが設立される。



**職業分類の原則** 会員の事業または専門職務に基づき一つの職業分類を各会員に割り当てることにより、この制度は、各クラブ会員が地域社会の事業と専門職務の構造を反映できるようにするものです。クラブの規模によって、ある特定の職業分類を保有することのできる会員数が制限されています。その目標は、会員の職業の多様性を保つことによって、クラブの懇親的な雰囲気を持ち上げ、奉仕プロジェクトを実施するための豊かな専門知識を提供し、クラブの指導者を育成することです。

**奉仕部門**：ロータリーの綱領に基づく奉仕部門は、ロータリーの精神的な礎であり、クラブ活動がよりどころとする基盤です。

❖ **クラブ奉仕**の主眼は、親睦を深め、クラブの機能を充実させることである。

### 四つのテスト

事業および専門職務に携わるロータリアンが、職業生活において遵奉すべき四つのテストは、1932年にロータリアンのハーバート J. テイラーにより創作されました。それ以来、世界100カ国語以上に翻訳されています。

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

❖ **職業奉仕**はロータリアンが自らの職業を通じて人々に奉仕し、高い道徳水準を実践することを奨励する。

❖ **社会奉仕**は、地域社会の人々の生活の質を向上させるためにクラブが行うプロジェクトや活動を含む。

❖ **国際奉仕**は、世界中でロータリーの人道的な活動を広げ、世界理解と平和を推進する活動を含む。

## RIプログラム

RIのプログラムおよび奉仕の機会は、ロータリアンがそれぞれの地域社会におけるニーズに応え、また世界で支援を必要とする人々に手を差し伸べる目的で設置されています。

**インターアクト**：ロータリー・クラブが年齢14歳から18歳の青少年のためにこの奉仕組織を作り、支援しています。現在、世界で162の国や地域に11,800以上のクラブがあります。

**ローターアクト**：ロータリー・クラブが、18歳から30歳までの青年男女のために、リーダーシップと職業的専門能力を開発することを目的とするこの奉仕組織を作り、支援しています。現在、163の国や地域に7,100以上のクラブがあります。

**ロータリー地域社会共同隊 (RCC)**：ロータリー・クラブは、地域社会の向上のために活動するロータリアン以外の人々から成るこれらのグループを組織、支援しています。現在、世界で76の国や地域に6,500以上のロータリー地域社会共同隊が活動しています。

**ロータリー親睦活動グループおよびロータリアン行動グループ**：世界ネットワーク活動グループは、ロータリー親睦グループ（職業別および趣味別のグループ）とロータリアン行動グループ（奉仕活動関連）から成り、共通の関心を持つロータリアンやロータリアンの配偶者、ローターアクターなら誰でも参加することができます。現在、70以上の世界ネットワーク活動グループがあります。

**ロータリー友情交換**：ロータリアンがチームまたは個人で、ときには家族同伴で、他国のロータリアンを互いに訪問しあい、それぞれの文化をじかに学びあう交流活動です。

**ロータリー・ボランティア**：ロータリアンや専門技能を有する他の人々が、地元や海外の人道的项目で奉仕し、体験する機会を提供します。

**ロータリー青少年交換**：クラブおよび地区が、1週間から1年間まで、文化交流のために海外に出る年齢15歳から19歳の学生を派遣し、また受け入れています。毎年、およそ8,000人が参加しています。

**ロータリー青少年指導者育成プログラム (RYLA)**：年齢14歳から30歳までの青少年および若年成人の指導力を助長し、奨励するために、クラブや地区がセミナーを支援しています。

**世界社会奉仕 (WCS)**：異なる二国にあるロータリー・クラブや地区が協同関係を組み、社会奉仕プロジェクトを実施します。www.rotary.orgのProjectLINKは、資金、ボランティア、寄贈物資を必要としているロータリー・クラブと地区の奉仕プロジェクトが検索できるデータベースで、海外からの協同者を求めているプロジェクトの説明やプロジェクトの成功例が掲載されています。

## ロータリー財団

非営利法人、国際ロータリーのロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

### 資金による支援

2007-08ロータリー年度、ロータリー財団は総額米貨2億4,570万ドルの寄付を受領し、クラブや地区が実施する人道的、教育的プログラム、ならびに世界ポリオ撲滅推進活動を支援するためにおよそ2億2,750万ドル以上を支給しました。寄付は、3つの主な基金に入れられます。

❖ **年次プログラム基金**は、財団プログラムを通じて補助金および奨学金を提供しています。

❖ **恒久基金**は、財団が長期的に活動していけるよう、収益の一部のみが財団プログラムの支援に回されます。

「ロータリー財団は、私たち全員をつなぐ接着剤のようなものです」

カルム・トムソン  
(スコットランド)

❖ **ポリオ・プラス基金**は、ポリオのない世界を築くというロータリーの目標を支援しています。

財団への寄付の全額が、人道的、教育的、文化交流プログラムとプログラム運営のために使われます。クラブおよび地区は、世界中で多くの有意義なプロジェクトを実施するために、財団補助金を申請し、受領します。一人当たり年間100ドル以上の寄付を世界中に奨励することを目的とする「毎年あなたも100ドルを」推進活動は、極めて重要な財団プログラムを支援しています。

### 教育的プログラム

教育的プログラムは、異なる国や文化圏の人々を結び付けることで国際理解を推進します。

**国際親善奨学金**は、大学生を対象とする国際的プログラムです。毎年、親善使節の役割を果たす学生、約800人を海外に派遣しています。

**ロータリー世界平和フェロシップ**は、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のために設置された7つのロータリー・センターのいずれかの修士課程あるいは専門能力開発修了証プログラムで学ぶ学生を対象に授与されます。

**研究グループ交換**は、文化および職業に関する短期交換プログラムです。ロータリアンではない、事業および専門職務に従事する25歳から40歳までの人々を対象としています。

### 人道的補助金プログラム

人道的補助金プログラムは、ロータリアンが、国際奉仕プロジェクトに対する支援を増やし、用水井戸、医療、識字能力向上、および人々が必要としているほかの奉仕事業を提供できるように援助します。これらの奉仕プロジェクトを成功させるためには、ロータリアンの参加が鍵となります。

**マッチング・グラント**は、ロータリー・クラブや地区が、ほかの国のクラブと地区に協力して人道的プロジェクトを行うのを援助するものです。

**地区補助金**は、地区が、地元や海外の地域社会に恩恵を与える奉仕活動や人道的努力を支えることを可能にします。

**保健、飢餓追放および人間性尊重 (3-H) 補助金**は、人道的ニーズに取り組むために、包括的なアプローチを取り入れた、長期的且つ持続可能な自主助の開発プロジェクトに授与されます。



## 2000-01

西太平洋地域がポリオ無発生地域と宣言される。

## 2001-02

ヨーロッパがポリオ無発生地域と宣言される。

## 2002-03

深刻な資金不足を補うため、ロータリーが2回目のポリオ撲滅募金キャンペーンを開始する。ロータリアンが米貨1億2,900万ドルを集める。

## 2004-05

世界中のクラブが何百もの地域社会プロジェクトを開始し、ボランティアに何千時間を捧げることによって、ロータリーの創立百周年を祝う。



## 2005-06

ポリオの常在国が、アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンの4カ国を残すのみとなる。1985年以来、ポリオの症例が世界で99パーセント減少する。

## 2006-07

ロータリー財団が100万人目のポール・ハリス・フェローを認定する。

## 2007-08

ゲイツ財団よりポリオ撲滅を目的として、ロータリーに米貨1億ドルの補助金が授与される。



## 2008-09

ゲイツ財団よりポリオ撲滅を目的として、ロータリーに米貨2億5,500万ドルの補助金が授与される。



## ポリオ・プラス

ポリオ・プラス・プログラムは、大規模な予防接種キャンペーンをはじめ、世界ポリオ撲滅の最終局面における役割を果たすために、社会動員や監視活動、研究を支援しています。ポリオ撲滅が実現するまでに、12億ドル以上がロータリアンによって集められるだろうと予想されています。またこれまでに、何十万という時間をボランティア活動に捧げてきました。ロータリーは、世界保健機関、ユニセフ、米国疾病対策センター（CDC）といった機関とともに、世界からポリオを撲滅する推進活動を主導してきました。この努力の結果、5歳未満の子供20億人にポリオの予防接種が行われ、今日では、もし予防接種を受けていなかった

としたら身体麻痺に冒されていたかもしれない500万人の人々が自由に歩き回っています。この活動のおかげで、毎年50万人のポリオ感染が予防されているといわれ、世界中でポリオ症例件数は99パーセント減少しました。

「専門職業人や友人の国際的な人脈が築けたこと、そして異なる国の人々の生活に対する理解や関心を深められたことに対して、ロータリーに心からお礼を言いたいと思います」

モハメッド・レザウル・カリム  
(バングラデシュ)

## ロータリー財団 未来の夢計画

効率を高め、より長期的な取り組みに焦点を当てるために、ロータリー財団管理委員会は、「未来の夢計画」を採択しました。2010年7月に開始される3年間の試験段階（パイロット）には、全世界から約100のロータリー地区が参加する予定となっています。これらの地区内のクラブは、2013年までに段階的に廃止される現行の財団プログラムには参加しません。試験地区は、各地区が選んだプロジェクトを地元や海外で実施するために充てられる「新地区補助金」、あるいは重点分野（平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基

本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）に取り組むプロジェクトの支援に充てられる「グローバル補助金」を申請することができます。試験段階中に財団は、ロータリーと共通の奉仕の理想を掲げている協力組織と関係を築き、全

地区が未来の夢計画に参加する2013年7月までに計画をさらに練り上げていく予定です。

## ロータリーの2億ドルのチャレンジ

2009年、ポリオ撲滅活動におけるロータリーの率先的な活動を高く評価したビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から、米貨2億5,500万ドルのチャレンジ補助金が寄付されました。この新たな補助金は、2007年にゲイツ財団からロータリーに寄せられた1億ドルの補助金に続くもので、1回目の補助金は2008年中に予防接種をはじめとするポリオ撲滅活動のために使用されました。2回目の補助金もこれと同様の形で2009年に使用することを条件としています。ロータリーは、2012年6月30日までに総額2億ドルの上乗せ資金を拠出することになっており、この募金活動を「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」と名づけました。このチャレンジを達成するため、世界中のロータリー・クラブはそれぞれ、今後3年間、募金活動を毎年実施していくよう呼びかけられています。補助金と上乗せ資金を合わせた5億5,500万ドルは、世界でポリオを撲滅させるというロータリーの最優先事項を実現するための大きな原動力となるでしょう。

## 重要な会合

重要な各種会合は、ロータリアンが集い、意見を交換し、成果を喜び合い、親睦を楽しみ、将来の計画を立てる場です。

**国際ロータリー年次大会** ロータリーの最大の会合は、国際ロータリー年次大会であり、毎年、ロータリー世界の異なる地

域で、5月か6月に開催されます。この活気にあふれる4日間の行事は、世界のリーダーやロータリー指導者による講演、地元の文化を盛り込んだ豪華な余興、そしてほかでは決して味わうことのできないロータリーの国際的な親睦を間近に体験するこの上ない機会となります。

**地区大会**：ロータリアンは、クラブおよび地区の活動を紹介し、意欲を喚起する年次地区大会に出席することが奨励されています。家族行事である地区大会では、親睦活動と学びの機会を結合したもので、今後の地区づくりにロータリアンが直接かかわることができます。

## 未来

国際ロータリーがポリオ撲滅を最優先事項とする一方、世界各地のロータリー・クラブは、地元や海外におけるプロジェクトを通じて保健および飢餓、水、識字に関する重要な問題に取り組んでいます。事業と専門職務および地域社会のリーダーの一人でも多くにロータリーに入会してもらい、恵まれない地域でも新クラブを結成していくことは、ロータリーで引き続き優先される課題です。これまで100年余りにわたって、世界各地の地域社会で奉仕を提供してきたロータリーは、これからも変わりゆく世界のニーズに応えられるよう万全の体制を整えています。

## ご存知でしたか

- ❖ ロータリー財団の国際親善奨学金は、民間による世界最大の奨学金プログラムです。
- ❖ ロータリー財団は1947年以来、米貨18億ドル以上をプログラム補助金と運営費に費やしてきました。
- ❖ ロータリアンは、さまざまな人道的使命を持つ数多くの団体 (ShelterBox, HungerPlus, Gift of Life, Rotary Doctor Bankなど) を設立しています。
- ❖ ポリオの全国予防接種日にビタミンAの補給を加えて実施することで、1998年以来、推定150万の子供たちの命が救われました。これは、ポリオ・プラスの「プラス」の証しです。
- ❖ 国際ロータリーの代表者たちは、国連とその外郭団体、米州機構、欧州評議会、アフリカ連合といった数多くの主要国際的組織と協力しています。

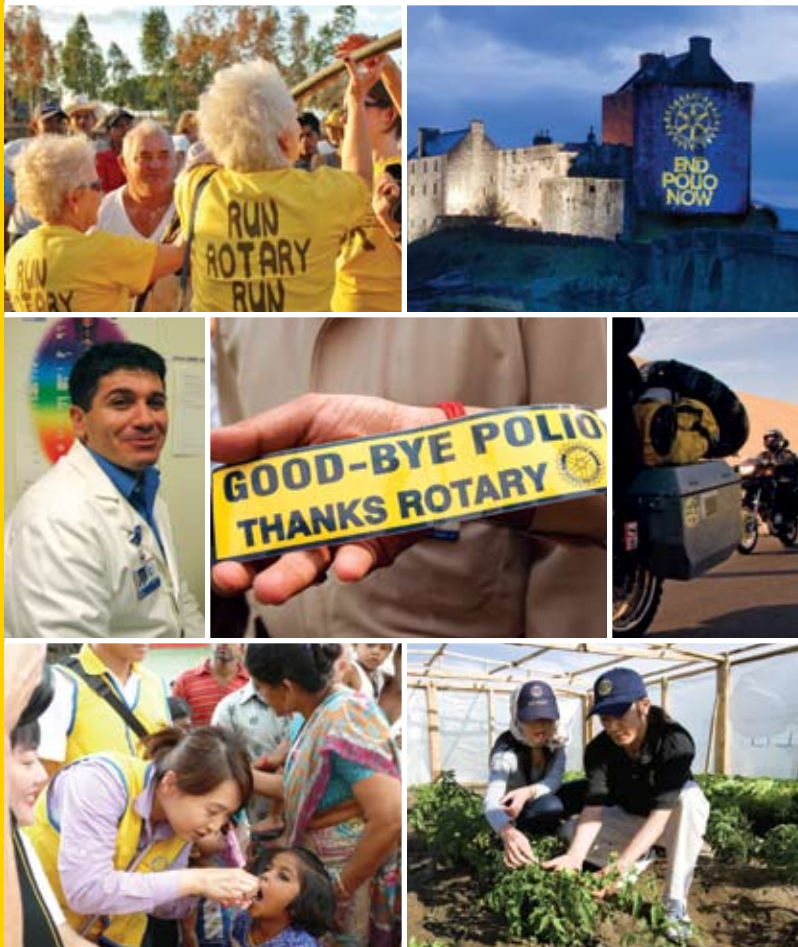
「国際大会に出席してはじめて、本物のロータリアンになれたと思っています」

エリック・マーカス  
(米国)



「ロータリーは、小さな村に住む普通の人間が、いかにして世界市民になることができるかを教えてくれました」

ラグ・グマン (インド)



「ロータリーでは、世界をより良い場所にするために、皆が力を合わせています。私はもう、一人ではありません」

フェルナンド・アギーレ・パロシオス  
(エクアドル)

ロータリーおよび世界中のロータリーの奉仕についての詳細は、[www.rotary.org](http://www.rotary.org)をご覧ください。このウェブサイトを通じて、最新のニュースを読んだり、出版物を注文したりするほか、国際大会にもご登録いただけます。また、ロータリー財団への寄付やロータリーの業務を行うこともできます。

ロータリーの基本知識の詳細は、オンライン ([www.rotary.org/ja/rotarybasics](http://www.rotary.org/ja/rotarybasics)) でご覧いただけます。ビデオや聴覚資料を通じて、ロータリアンであることの素晴らしさを実感してください。